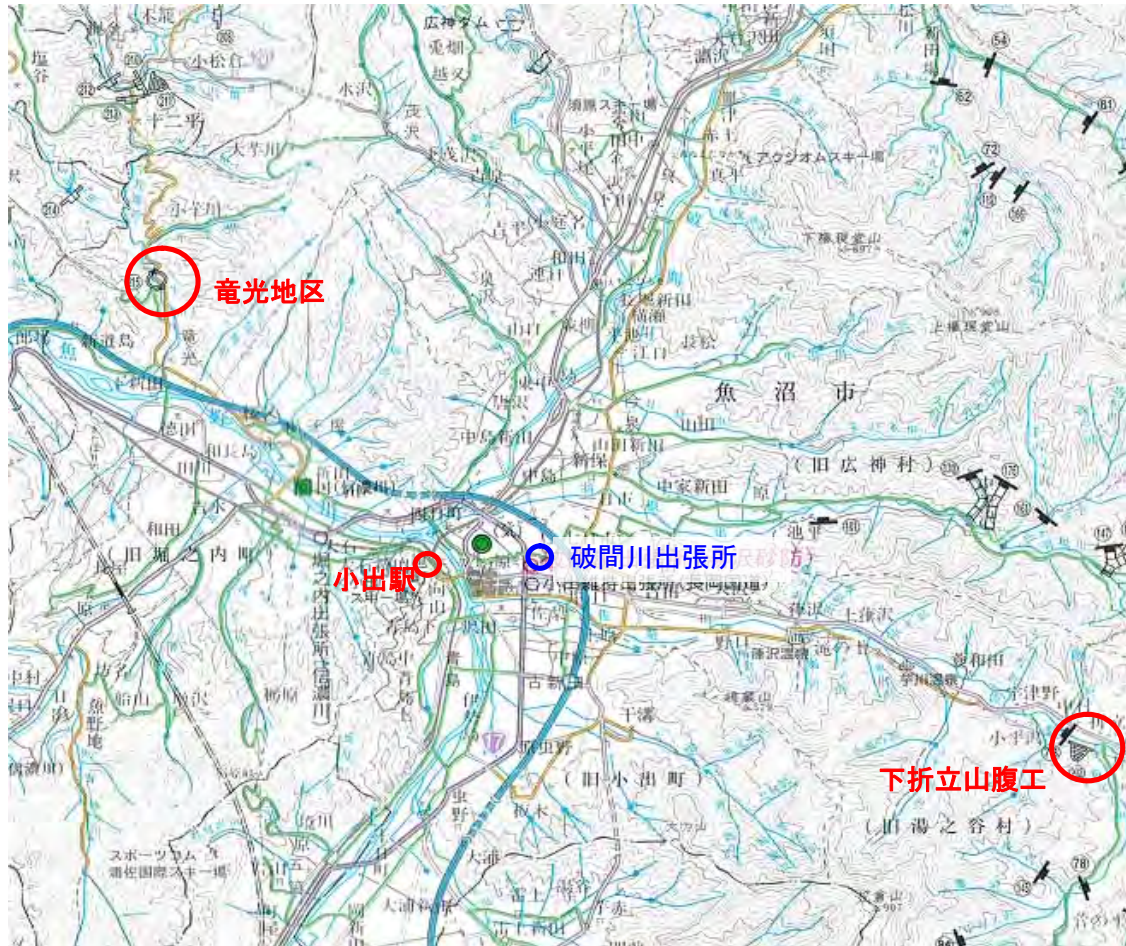


湯沢砂防事務所は女性モニターの皆さんと一緒に、より良い砂防について考えています。

去る10月5日、芋川下流域で砂防工事を行っている竜光地区と、旧湯之谷村の下折立地区で斜面对策工事を行っている現場を見学し、その後FMゆきぐにで意見交換会を行いました。

## <位置図>



## \*\*\*プログラム\*\*\*\*\*

- 13:10 小出駅から見学地へ向けて出発  
マイクロバス内にて見学地の説明等
- 13:30 竜光地区着、芋川下流域の砂防施設見学  
・遊砂地  
・ワイヤーネット砂防堰堤
- 14:00 竜光地区出発  
マイクロバス内にて質疑応答
- 14:40 佐梨川現場着、下折立山腹工見学
- 15:00 佐梨川出発  
マイクロバス内にて質疑応答
- 15:40 FMゆきぐに着、意見交換会
- 16:40 終了、解散



竜光地区へ近づくにつれ、山の崩壊が目立ってきました。

\*\*\*\*\*



## 竜光地区（遊砂地工事現場）

魚沼市竜光地区は芋川の最下流部（魚野川との合流点付近）に位置します。

中越地震発生後、当地区の安全確保のために、まず警戒避難体制がつけられました。現在でも上流域には大量の不安定土砂があることから砂防工事が必要となっています。そこで、竜光地区では出水時に大量の土砂が流出した場合に備え、遊砂地の工事を行っています。

遊砂地は出水時等で上流から大量の土砂流出があったとき、その土砂が下流へと流れでないように一時的に受け止める砂防施設です。芋川流域の地質は細砂分が多く、出水時には細かい土砂となって流出するため、遊砂地工はこの地に適した工法であるといえます。



柳破間川出張所長より工事の概要説明を受けています。



トラック1台で約5㎡の土砂を運びます。

### \*\*女性モニターより\*\*（遊砂地工事現場を見学して）

- ・ 遊砂地は工事量が多く大変と思いましたが、流れを変えず、いいと思いました。
- ・ 回りの山々が多数崩れていて、その土砂も大量に川に流れてしまうが、再利用していることはとても良い。

## 竜光地区（ワイヤーネット砂防堰堤）

遊砂地工事現場より上流に施工されているワイヤーネット砂防堰堤。川の左・右両岸に大きな四角いコンクリートブロックを設置し、その間にワイヤーのネットを張った形の砂防堰堤です。上流から流れてくる土砂や流木などを捕捉します。

施工期間が短いのが特徴で、今年9月に概成しました。



ワイヤーネット砂防堰堤を間近に見学



持参したカメラで堰堤をパチリ。



女性モニターが熱心に質問しています。

### \*\*女性モニターより\*\* （ワイヤーネット砂防堰堤を見学して）

- ・ このような砂防の方法がある事を初めて知りました。実物を見て頼りなく、これで大丈夫かと疑問に思いましたが、資料の写真（立山砂防での土石流捕捉事例）を見てその威力に驚きました。低コストと工期が早いので、地震のように早期の復旧を迫られる所には良いと思いました。
- ・ 初めてみる砂防堰堤で、施工期間が短くて景観を損なわないというのがわかった。地震から1年で、ずいぶん立派なものができるのに驚いた。



バスの中で資料に目を通すモニターの皆さん





芋川かわら版を読む女性モニター

### \*\*その他の女性モニターの感想\*\*

- ・ テレビや新聞などの報道で伝わっていたよりも、実際に見ると想像を遥かに超えた工事が行われていました。そして地震の怖さを改めて実感しました。
- ・ 地域の方々へ工事の様子をお知らせする「芋川砂防かわら版」は、とても素晴らしいと思う。砂防の工事は、何が行われてるか、どうして行われているのか、みえにくい。工事関係者の顔や、進行状況等や、工事の必要性がわかるのは安心でいられる。

## 佐梨川土砂崩落現場（下折立山腹工工事）

平成16年2月に旧湯之谷村の佐梨川左岸斜面で発生した斜面崩壊現場です。

昨年度のモニター見学会では、応急復旧対策として無人機械により河道内に堆積した崩落土砂を除去している様子を見学しました。

今回は崩壊した斜面の恒久対策として法枠工やアンカー工を施工している様子を見学しました。冬が来る前に完成すべく、工事は急ピッチで進められています。



佐梨川の下折立山腹工現場



急斜面上でのラス網設置や鉄筋・型枠組立作業は、職人による手作業で行われています。



工事現場を見上げて「こんなに大がかりな作業とは思ってなかった」との感想も。

### \*\*女性モニターより\*\*（山腹工工事現場を見学して）

- ・ 佐梨川現場は正に驚異でした。20mのクレーンと聞き、さすが！の思いと20数名の職人さん達の体を張った姿はやはり人間の技を感じて胸が熱くなる思いでした。これなら上・下流の人達も安心して住めると確信しました。
- ・ 初めて工事現場の復旧工事の様子を見ました。危険な仕事にも拘らず本当にスムーズに作業しています。人間の力のすごさに感心しました。
- ・ あの急斜面へへばり付くようにして工事をやる方々に感心し、圧倒されました。自然災害の脅威と、そこに生活する人達の安全を守る事の大変さを思いました。
- ・ 下流に住んでいる友人に話をしたら、災害があったことさえ知らないと言っていました。被害が出る前に対応してくれたことを話しました。



## 意見交換会

### 親子イベントについて報告・反省など

去る10月1日、南魚沼市の登川河川公園で開催したSABOバスペインティング。南魚沼周辺から約40名の親子の皆さんに参加頂きました。前回の意見交換会でモニターの皆さんから頂いたご意見を反映させたことで、参加者の皆さんに満足していただけるイベントにすることができました。

今回はその実施報告と、当日イベントに参加して頂いた女性モニターさんからは、参加しての感想やご意見をいただきました。

### SABOバスペインティング当日の様子



参加者の皆さん



子供たちもみんな真剣でした

### \*\*女性モニターより\*\* (バスペインティングイベントに参加して)

- ・親子で楽しいイベントを通して、砂防の大切さを学べて良い企画と思いました。10月5日のモニター見学会の帰途、六日町で偶然ペインティングされたバスが停車していました。色が鮮やかで、緑豊かな自然がイメージされて良かった。
- ・石ころアートも砂防に直接は関係ないですが、自然の中で、世界に一つだけの作品を作り出す体験の面白さは楽しかったです。いろんな活動をしている方々の発表の場を作ることも、大切です。
- ・バス内にSABOバスペインティングの趣旨を説明するような広告を出してはどうか。
- ・一般の人達の認知度が少ないと思います。公共物のバスに絵を描きそれが普通に道を走るとなれば子供はもちろん大人だってすごくうれしいのは自分でも体験済み。前もって周辺のイベント状況を把握し、保育園などにもチラシなどを配り宣伝をして多くの人達に体験してもらいたいと思います。



意見交換会の様子



ペインティングされたバス

### 湯沢砂防より

今回のモニター見学会では、災害復旧工事現場を2箇所見学しました。災害が起きるときは一瞬ですが、復旧には時間がかかります。“一度見学したらおわり”ではなく、「何度も見学し過程を見守りたい」というモニターの皆さんのご要望に答えられるよう今後のモニター活動を計画したいと思います。

今回、ペイントバスの車内には、モニターの皆さんから頂いたご意見を取り入れ、説明用のポスターを掲示するようにしました。ご意見ありがとうございました。

お問い合わせは 949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立23 国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課 (025-784-2073) まで